

4 ハザードマップに載っている情報とは？

ハザードマップには、自然災害により被災が想定される区域や避難場所の位置などが表示されています。ここでは、あるハザードマップを例として取り上げますので、どんな情報が載っているのかを確認しましょう。

指定避難所 (19頁参照)
 災害の危険性があり避難した住民等が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、又は災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを目的とした施設です。

指定緊急避難場所 (19頁参照)
 命を守るために緊急的に避難する場所です。災害発生時は、その災害に対応している指定緊急避難場所へ避難してください。

- 土砂災害警戒区域等**
- 土砂災害特別警戒区域 (急傾斜)
 - 土砂災害警戒区域 (急傾斜)
 - 土砂災害特別警戒区域 (土石流)
 - 土砂災害警戒区域 (土石流)
 - 土砂災害警戒区域 (地すべり)

土砂災害特別警戒区域
 建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。

土砂災害警戒区域
 土砂災害のおそれがある区域です。

想定浸水深

想定最大規模降雨 (L2)	計画規模降雨 (L1)
10.0~20.0m未満	5.0m以上
5.0~10.0m未満	2.0~5.0m未満
3.0~5.0m未満	1.0~2.0m未満
0.5~3.0m未満	0.5~1.0m未満
0.5m未満	0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい流れが発生するおそれがある区域です。この区域は、早期の立退き避難が必要です。また、家屋倒壊等氾濫想定区域には、「氾濫流」と「河岸侵食」があります。



氾濫した洪水の流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれのある区域



洪水の際に河岸が削られて、家屋が倒壊するおそれのある区域

- 家屋倒壊等氾濫想定区域**
- 河岸侵食による区域
 - 氾濫流による区域

浸水想定区域

河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域です。マップ上では、想定される浸水の深さに応じて色分けされています。(黄色~赤色)

福祉避難所 (31頁参照)

高齢者、障がい者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方(要配慮者)を受け入れるための避難所施設です。

※浸水想定区域内にある指定避難所は、水害の際には開設されません。

防災ダックのまとめ

みんなの住む地域や自宅周辺が、実は災害の危険がある場所かもしれない。今すぐ、ハザードマップで住んでいる地域の災害リスクを確認しよう。あと、避難場所や避難経路の確認も忘れないでね。地域の災害リスクを知ることが、防災対策の第一歩だ。

